



# きどき

太田市立木崎中学校  
学校だより 第12号  
発行責任者 添田 良之

## 第2回 学校保健委員会開催

2月9日(木)6校時、第2回学校保健委員会が開催されました。生徒会保健委員会の生徒による調査研究内容の発表が主な内容です。学校医の先生、学校薬剤師の先生、保護者の皆さんにも参加していただき、実施しました。第1回同様、感染防止対策のためコンピュータ室で実施し、各教室に配信しました。

今回のテーマは「デジタル機器の利用による目の健康への影響」でした。事前に生徒対象にアンケートを行い、そこから得たデータをもとに研究を進めました。保健委員の2年生が発表用スライドを作成し、1年生がそのスライドを活用して発表を行いました。



デジタル機器の長時間使用による影響には、目の疲労・VDT症候群、近視の進行・増加、スマホ老眼、斜視の発症や悪化等があげられました。また、肩こり、頭痛、ドライアイなどデジタル機器の使用によると思われる体の不調を訴えている生徒が木崎中学校では40%以上いるという現状も示されました。よく整えられたスライドとわかりやすい発表のおかげで教室で参加していた生徒たちも多くのことを学び、気づくことができました。

木崎中学校の視力1.0未満の生徒の割合は73.5%で、太田市、群馬県、全国の数値を上回っています。近視進行や疲れ目防止のための改善策なども示されました。今回の発表を受けて、視力低下防止に向けた行動がとれることを願っています。

## 入学説明会を行いました

2月3日(金)14時20分より、木崎中学校体育館において、来年度入学生徒を対象とした入学説明会を実施しました。コロナウイルス感染防止対策として、保護者皆さんだけ



体育館にお越しいただき、6年生のみなさんにはリモートで配信しご覧いただく形で実施しました。資料は配付せず、スクリーンをご覧になっていただき、必要に応じて後ほど、お子さんの学習用端末を活用して確認していただくようにしました。

かばんや टीシャツ、服装・頭髪の決まりなどこれまでの木崎中学校から変わったところ、中学校での学習や部活動のこと、校則や自転車通学のことなどの説明を聞いていただきました。

新入生の皆さんには、入学後、見学の機会や生徒会からわかりやすく説明する機会を設けます。

令和5年度の入学式まで1ヶ月あまりです。新1年生の入学を、在校生及び教職員一同、心よりお待ちしております。

## 成果を上げています、アルミ缶回収！

地球環境を守ることを第一の目的に、生徒会環境委員会によるアルミ缶回収が6月から定期的に行われています。隔週の火曜日と水曜日に回収が行われています。朝8時からの15分間、環境委員さんが生徒玄関に立ち、持参してきた生徒からアルミ缶を回収しています。多くの生徒がもってきてくれるように、回収日の前日には環境委員さんによるアルミ缶回収実施を伝える校内放送とクラスでの呼びかけが行われています。ご家庭の協力のおかげで、毎回数百個の回収がなされています。



生徒の取組の成果は確実に表れてきています。昨年度は1年間で500個のアルミ缶が回収されました。今年度は、2月第2週の段階で3000個以上回収されています。4000個に達するように取り組んでまいりますので、ご家庭でのご協力をこれからもよろしくお願いいたします。

## 薬物乱用防止教室実施！

3月1日(木)、1年生を対象に実施しました。講師には青少年健康問題研究指導アドバイザーを務める東京工科大学の先生を迎え「たばこや薬物の害を正しく知ろう コロナ・オミクロン株も考える」をテーマに、感染防止対策のため講義を教室で視聴する形で実施しました。



最初に、コロナウイルス、特にオミクロン株について、マスクの重要性、正しい理解があつてこそ感染予防ができることを学びました。

次にたばこの害について学びました。二次喫煙三次喫煙の怖さを知りました。また、喫煙によって起こるニコチン依存、COPD(慢性閉塞性肺疾患)、がんなどの病気や、喫煙者の近くにいても起こる受動喫煙の影響も学びました。

たばこ以上に危険な大麻、覚醒剤、危険ドラッグなどの薬物についても学びました。たくみな方法で若者を狙う手口の恐ろしさを知ることができました。

断る勇気、自分を守る勇気、行動力、その行動に正しい知識を結びつけることで自分の健康は自分で守るということを学ぶことができた教室でした。

## 学習用端末フル活用

一人一台端末が導入されて2年目が終わります。各教科、道徳や学活、総合的な学習の時間でもフル活用されています。生徒たちはたくみに使いこなし、使い方も丁寧です。調べ学習、意見交換、資料提示や発表と様々な場面で活用されています。

また、コロナ対策として生徒が一カ所に集合せずに済むようにリモートで教室と会場を結んだ授業や行事も可能になりました。欠席者が自宅で授業に参加することもできます。連絡を送ることもできます。

保護者の参加の有無を問う場合や学校評価のような回答も、端末を活用することでご家庭から手軽に返信できるようになりました。これからも使える場面を選択し、有効活用を進めます。

